

夢想

鈴木柊

あと一射

あと一本

ほんの少しの意識

ほんの少しの力

たったそれだけで、未来は変わっていた

幻想と化したその一本は

いつも私の脳内を飛ぶ

覚えていますか

あなたが見つめていたことを

あなたを見つめていたことを

決着が今か今かと待たれる中で

未来を悟った私を、じっと見ていた「あなた」

ただ目と目が触れ合うだけの、二人のセカイ

何を考えていたのですか

私を笑っていたのですか

大抵は白く着飾っているけれど

あの日のあなたは、何にも邪魔されず

ただただ清々しい、「あお」だった

それを私は、とても綺麗に感じました

思わず笑みがこぼれるくらい

ふふふ

負けちゃった

今も時々、あの矢が連れて来る

あの日の未熟さと

今も変わらず見つめるあなた

果てを知らない夢想の矢